



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月14日

上場会社名 はごろもフーズ株式会社 上場取引所 東
コード番号 2831 URL <https://www.hagoromofoods.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 後藤 佐恵子
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 経営企画本部長 (氏名) 川隅 義之 TEL 054-288-5200
兼 SDGs 担当
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 2023年12月5日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	37,483	5.3	1,394	—	1,626	863.8	1,298	—
2023年3月期第2四半期	35,609	0.7	37	△98.2	168	△92.3	84	△95.3

(注) 1. 包括利益 2024年3月期第2四半期 3,333百万円 (—%) 2023年3月期第2四半期 64百万円 (△96.8%)

2. 2024年3月期第2四半期の営業利益、親会社株主に帰属する四半期純利益および包括利益の対前年同四半期増減率は1,000%以上となるため「—」と記載しています。

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	137.99	—
2023年3月期第2四半期	9.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	65,567	37,097	56.6	3,942.06
2023年3月期	60,656	33,999	56.1	3,612.87

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 37,097百万円 2023年3月期 33,999百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2024年3月期	—	25.00	—	—	—
2024年3月期 (予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	71,800	1.9	1,400	—	1,800	—	1,300	—	138.14

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益の対前期増減率は前期が損失のため「—」と記載しています。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	10,325,365株	2023年3月期	10,325,365株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	914,804株	2023年3月期	914,804株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	9,410,561株	2023年3月期2Q	9,410,611株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があり、業績の進捗に応じ予想を修正することがあります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報)	9
3. 2024年3月期第2四半期決算短信(連結)補足説明	10
(1) 売上高・利益の増減要因等	10
(2) 販売費及び一般管理費の内訳	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の第5類移行による人流の増加やインバウンド需要の増加により緩やかな回復の動きが見られました。しかし、様々な社会情勢による原材料やエネルギー価格の上昇や、為替相場の変動等により、先行き不透明な状態が続きました。

食品業界においては、昨年度からのコスト上昇を背景とした製品の価格改定が続いたことにより、お客様の生活防衛意識が高まり消費が停滞する等、引き続き厳しい経営環境となりました。

このような中、当社グループは、中期経営計画の優先課題である信頼感・安心感のある「はごろも」ブランドの確立に取り組み、お客様のニーズに応える健康志向や簡便性・利便性といった機能性を追求した製品の販売に注力しました。あわせて、販売促進活動の一つである「シーチキン食堂」のテレビコマーシャルと連携した「朝たん（＝朝にたんぱく質を摂る）」等のメニュー提案により、さらなる製品の需要喚起とブランド価値の訴求に努めました。一方でまぐろ・かつお等の主原料や食用油等の副材料、空缶等の容器包装資材の価格や、エネルギー価格等の上昇により売上原価が増加したことから、多くの製品において価格改定を実施しました。

この結果、販売においては、家庭用製品は、価格改定による買い控え等の影響はありましたが、新価格の定着と、健康志向や機能性を追求した製品、明確な製品コンセプトを打ち出した製品がお客様に支持されたこと等により伸長しました。業務用製品は、価格改定による新価格の定着と、各種給食向けの販売が増加したこと等により伸長したため、当第2四半期連結累計期間の売上高は374億83百万円（前年同期比5.3%増）となりました。

利益においては、原材料価格の大幅な値上がり等により売上原価が増加しましたが、広告宣伝費や物流費の減少等により、営業利益は13億94百万円（前年同期比37.5倍）、持分法による投資利益が増加したこと等により、経常利益は16億26百万円（前年同期比863.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億98百万円（前年同期比15.3倍）となりました。

また、当社グループは、食品事業およびこの付帯事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の開示は行っていませんが、製品群別の販売動向は以下のとおりです。

表：製品群別売上高（連結）

（単位：千円、％）

製品群		前年同期		当第2四半期		増減		
		金額	構成比	金額	構成比	金額	率	
製品	家庭用食品	ツナ等	16,134,573	45.3	17,468,140	46.6	1,333,567	8.3
		デザート	3,081,634	8.7	2,763,528	7.4	△318,106	△10.3
		パスタ&ソース	2,986,753	8.4	3,147,648	8.4	160,895	5.4
		総菜	3,268,101	9.2	3,368,287	9.0	100,186	3.1
		削りぶし・のり・ふりかけ類	1,624,038	4.6	1,701,062	4.5	77,024	4.7
		ギフト・その他食品	1,325,079	3.6	1,419,621	3.8	94,541	7.1
		計	28,420,181	79.8	29,868,289	79.7	1,448,107	5.1
	業務用食品	6,029,306	16.9	6,467,998	17.2	438,691	7.3	
	ペットフード・バイオ他	975,262	2.8	973,994	2.6	△1,268	△0.1	
	計	35,424,751	99.5	37,310,281	99.5	1,885,530	5.3	
その他	184,837	0.5	173,540	0.5	△11,297	△6.1		
合計	35,609,588	100.0	37,483,822	100.0	1,874,233	5.3		

「ツナ等」では、主力の油漬缶詰「シーチキンマイルド」が堅調で、さらに高たんぱく・低脂質・低糖質という健康面を訴求した「オイル不使用シーチキン」シリーズや、開けやすく後片付けが簡単なパウチタイプの「シーチキンSmile」シリーズが引き続き好調で、売上高は前年同期比8.3%増加しました。

「デザート」では、国産フルーツ缶詰と2月に発売した紙パック容器の和スイーツ「満点寒天」が好調でしたが、主力の「朝からフルーツ」「甘みあっさり」シリーズが低調で、売上高は同10.3%減少しました。

「パスタ&ソース」では、パスタは3月からデザインをリニューアルした主力の結束タイプのスパゲッティ「ポポロスパ7分」や「サラスパ」、100g小容量の「ポポロマカ4分」等が好調でした。ソースは2月に発売した電子レンジ対応パウチを使用した「ミートソース」と、和の素材を使った和えるパスタソース「和える七香」シリーズが好調で、売上高は同5.4%増加しました。

「総菜」では、主力の「シャキッとコーン」シリーズが好調で、さらに2月にリニューアルした「ホームクッキー

ング」シリーズが堅調で、売上高は同3.1%増加しました。

「削りぶし・のり・ふりかけ類」では、かつおパックや削りぶしは低調でしたが、2月に発売した「のり弁慶」や「天下無添ふりかけ」シリーズ等のふりかけや、「わかめ混ぜごはん」シリーズ、きざみのりが好調で、売上高は同4.7%増加しました。

「ギフト・その他食品」では、贈答品市場の回復と地方自治体の経済支援政策との取り組みによりギフトが伸長し、さらに電子レンジで簡単に調理可能な包装米飯「パパッとライス」が引き続き好調で、売上高は同7.1%増加しました。

「業務用食品」では、各種給食や業務用スーパー向けの販売が伸長していること等により、売上高は同7.3%増加しました。

「ペットフード・バイオ他」では、新製品を各々投入し品揃えをさらに拡充したペットフード「無一物」シリーズが堅調でしたが、ミールエキスの販売縮小により、売上高は同0.1%減少しました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の内容

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末より49億11百万円増加して、655億67百万円となりました。これは主に、流動資産のその他が12億34百万円、商品及び製品が3億85百万円減少したものの、受取手形、売掛金及び契約資産が38億33百万円、投資有価証券が26億95百万円増加したことによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末より18億13百万円増加して、284億70百万円となりました。これは主に、未払金が21億89百万円減少したものの、流動負債のその他が21億69百万円、固定負債のその他が7億68百万円、長期借入金が7億58百万円増加したことによるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末より30億97百万円増加して、370億97百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が17億20百万円、利益剰余金が10億63百万円、為替換算調整勘定が1億78百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の56.1%から56.6%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ、4億28百万円増加し、8億92百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動により増加した資金は3億76百万円（前年同期は28百万円の減少）となりました。これは主に、売上債権の増加があったものの、税金等調整前四半期純利益や減価償却費の計上、未収入金の減少ならびに未払消費税等の増加があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動により減少した資金は4億49百万円（前年同期は9億67百万円の減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得支出によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動により増加した資金は5億2百万円（前年同期は5億13百万円の減少）となりました。これは主に、長期借入金の返済や配当金の支払があったものの、長期借入れによる収入があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期連結業績予想については、2023年11月2日付「業績予想の修正に関するお知らせ」で発表したとおりです。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	463,873	892,114
受取手形、売掛金及び契約資産	15,775,013	19,608,105
商品及び製品	11,465,945	11,080,617
仕掛品	46,935	50,722
原材料及び貯蔵品	3,248,526	3,403,484
その他	3,237,702	2,003,635
流動資産合計	34,237,996	37,038,678
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,447,187	7,233,213
土地	3,273,560	3,169,725
その他(純額)	4,026,383	3,775,042
有形固定資産合計	14,747,130	14,177,981
無形固定資産	404,217	387,042
投資その他の資産		
投資有価証券	9,800,883	12,496,642
退職給付に係る資産	974,711	983,304
その他	494,693	486,873
貸倒引当金	△3,432	△3,104
投資その他の資産合計	11,266,856	13,963,715
固定資産合計	26,418,204	28,528,738
資産合計	60,656,201	65,567,417
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,455,314	14,168,572
1年内返済予定の長期借入金	482,688	482,688
未払金	5,404,847	3,215,525
未払法人税等	13,885	598,140
賞与引当金	362,150	379,528
その他	805,344	2,975,323
流動負債合計	21,524,229	21,819,778
固定負債		
長期借入金	2,716,165	3,474,821
役員退職慰労引当金	776,529	767,513
退職給付に係る負債	11,480	10,986
その他	1,628,648	2,397,290
固定負債合計	5,132,824	6,650,611
負債合計	26,657,053	28,470,389

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,441,669	1,441,669
資本剰余金	942,527	942,527
利益剰余金	28,839,831	29,903,144
自己株式	△2,163,292	△2,163,292
株主資本合計	29,060,736	30,124,049
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,274,072	5,994,148
繰延ヘッジ損益	△4,378	147,937
為替換算調整勘定	205,415	384,381
退職給付に係る調整累計額	463,301	446,510
その他の包括利益累計額合計	4,938,411	6,972,978
純資産合計	33,999,147	37,097,027
負債純資産合計	60,656,201	65,567,417

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	35,609,588	37,483,822
売上原価	29,135,383	29,915,227
売上総利益	6,474,205	7,568,594
販売費及び一般管理費	6,437,070	6,174,252
営業利益	37,135	1,394,342
営業外収益		
受取利息	10	9
受取配当金	111,143	131,623
持分法による投資利益	—	73,631
仕入割引	20,038	18,527
賃貸料収入	33,662	32,542
その他	28,012	22,793
営業外収益合計	192,867	279,127
営業外費用		
支払利息	6,273	7,431
賃貸収入原価	14,461	15,024
持分法による投資損失	28,589	—
その他	11,957	24,936
営業外費用合計	61,281	47,392
経常利益	168,720	1,626,076
特別利益		
固定資産売却益	2,737	11,310
補助金収入	—	180,000
建物解体費用戻入益	—	52,600
特別利益合計	2,737	243,910
特別損失		
固定資産除却損	960	1,064
固定資産売却損	6,076	852
品質関連損失	—	6,192
特別損失合計	7,037	8,109
税金等調整前四半期純利益	164,421	1,861,877
法人税等	79,581	563,300
四半期純利益	84,839	1,298,577
親会社株主に帰属する四半期純利益	84,839	1,298,577

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	84,839	1,298,577
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△281,736	1,720,075
繰延ヘッジ損益	△52,545	152,316
退職給付に係る調整額	△1,021	△24,257
持分法適用会社に対する持分相当額	314,558	186,432
その他の包括利益合計	△20,745	2,034,566
四半期包括利益	64,094	3,333,143
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	64,094	3,333,143
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	164,421	1,861,877
減価償却費	830,506	711,359
品質関連損失	—	6,192
受取利息及び受取配当金	△111,154	△131,632
支払利息	6,273	7,431
為替差損益 (△は益)	3,675	3,064
持分法による投資損益 (△は益)	28,589	△73,631
補助金収入	—	△180,000
建物解体費用戻入益	—	△52,600
売上債権の増減額 (△は増加)	△918,277	△3,833,091
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,105,914	84,990
未収入金の増減額 (△は増加)	201,387	960,124
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,548,231	△286,742
未払金の増減額 (△は減少)	△1,863,492	△1,897,240
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△277,163	610,700
その他	1,846,436	1,857,060
小計	353,520	△352,136
利息及び配当金の受取額	111,154	152,779
利息の支払額	△6,226	△8,570
法人税等の支払額	△486,543	△40,009
法人税等の還付額	—	446,497
補助金の受取額	—	180,000
品質関連損失の支払額	—	△1,992
営業活動によるキャッシュ・フロー	△28,094	376,567
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△934,177	△490,024
投資有価証券の取得による支出	△2,280	△2,234
その他	△31,023	42,556
投資活動によるキャッシュ・フロー	△967,481	△449,702
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△241,344	△241,344
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△36,948	△20,423
配当金の支払額	△235,265	△235,264
財務活動によるキャッシュ・フロー	△513,558	502,968
現金及び現金同等物に係る換算差額	△146	△1,592
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,509,280	428,240
現金及び現金同等物の期首残高	3,533,831	463,873
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,024,551	892,114

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益または税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しています。ただし、見積実効税率を使用できない場合には、法定実効税率を使用しています。

(セグメント情報)

当社グループは、食品事業およびこの付帯事業の単一セグメントであるため、記載を省略しています。

3. 2024年3月期 第2四半期決算短信(連結) 補足説明

(1) 売上高・利益の増減要因等

(単位：百万円、%)

	前年同期		当第2四半期		前年同期比		前年同期比増減要因等
	金額	率	金額	率	金額	率	
売上高	100.0 35,609		100.0 37,483		1,874	105.3	販売函数 △689千函 △7.1% 製品群別売上高 ・ツナ等 +1,333百万円 +8.3% ・デザート △318 △10.3 ・パスタ&ソース +160 +5.4 ・総菜 +100 +3.1 ・削りぶし・のり・ ふりかけ類 +77 +4.7 ・ギフト・ その他食品 +94 +7.1 ・業務用食品 +438 +7.3
売上原価	81.8 29,135		79.8 29,915		779	102.7	・売上原価率 △2.0ポイント
売上総利益	18.2 6,474		20.2 7,568		1,094	116.9	
販売費及び 一般管理費	18.1 6,437		16.5 6,174		△262	95.9	・販売奨励金 △13百万円 △1.1% ・広告宣伝費 △65 △11.0 ・荷造運賃・保管料 △121 △6.6 ・研究開発費 +25 +21.1
営業利益	0.1 37		3.7 1,394		1,357	—	
営業外損益	0.4 131		0.6 231		100	176.1	・持分法による投資損益 +102百万円
経常利益	0.5 168		4.3 1,626		1,457	963.8	
特別損益	△0.0 △4		0.7 235		240	—	・補助金収入 180百万円計上
税金等調整前 四半期純利益	0.5 164		5.0 1,861		1,697	—	
法人税等	0.3 79		1.5 563		483	707.8	
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	0.2 84		3.5 1,298		1,213	—	
設備投資額	1,684	229	△1,454	13.6	無形固定資産含む		
減価償却費	830	711	△119	85.7	無形固定資産含む		

(2) 販売費及び一般管理費の内訳

(単位：百万円、%)

	前年同期	当第2四半期	増減額	前年同期比
販売奨励金	1,201	1,187	△13	98.9
広告宣伝費	593	528	△65	89.0
荷造運賃・保管料	1,830	1,709	△121	93.4
給料・賞与(引当金繰入額含む)	999	971	△28	97.2
退職給付費用	73	48	△25	65.5
研究開発費	122	148	25	121.1
その他	1,616	1,581	△34	97.8
合計	6,437	6,174	△262	95.9